

自然体験活動を楽しむために

みなさまに安全に楽しんでいただくため、以下の点にご留意くださいますようお願いいたします。

①地震発生時

活動中大きな地震が発生した際は、周りに建屋や樹木などがない安全な場所(モンキチョウの広場、アキアカネの丘など)に避難をしてください。
ただし、ノギクの広場に関しては、崖崩れの可能性があるため、直ちに崖から離れた場所に避難してください。

②夜間の体験活動

夜間に活動(ホテル観察やナイトハイク等)する場合、森の中には基本的に外灯がありません。

夜行く予定のコースを必ず日中に下見して下さい。
トレイルから外れて藪などに踏み込まないようにして下さい。
また足元も平らでないため十分にご注意下さい。

※16:30で自然観察センターは閉館となりますので、トイレは野外トイレ(自動照明あり)をご利用ください。また、夜間は自然観察センターは無人人となりますのでご了承をお願いします。

③マナー

館内(自然観察センター内)マナー

館内には様々な展示物があります。多くの展示物は自由に見たり、触ったりすることができますが、展示物が壊れるような無理な扱いをしない、出したものは元の場所に戻す、配布部を見章が1枚ずつ持っていないというルールを守って下さい。

フィールドマナー

園内には、一般の来園者も多くいらっしゃいます。野外活動をする際や森を歩く際には、一般の来園者がいたら、あいさつを交わし、道は譲りあうようにして、お互いに気持ちよく自然観察の森を利用できるよう心掛けてください。



火・コンロは使わない



ポイ捨てはしない



静かさを乱さない



ペットはつないで



ゴミはうちまで



生きものを持ち帰らない
持ちこまない



ボール遊びはしない



道からはずれない



自転車はゆっくりと

④注意が必要な生きもの

園内には注意が必要な生きものも生息しています。服装は長袖、長ズボン、帽子の着用がおすすめです。また以下の生き物については裏面に対処を確認してください。現地ではレンジャーの行う20分対応の中で、出会った際に気をつける点についてお伝えすることも可能です。

- 1.ハチ(スズメバチ・アシナガバチ・ミツバチ)
- 2.ヘビ(マムシ・ヤマカガシ)
- 3.マダニ
- 4.カバキコマチグモ
- 5.かぶれる植物(コクサギ・ヌルデ・ツタウルシ・ヤマハゼ)

ハチに刺されたりヘビにかまれた時、その他の怪我をされた時、それから具合が悪くなった時は、自然観察センターに必ずご連絡ください。救護室がご利用になれます。また、状況に応じて自然観察センターより救急車を手配いたします。

また休館及び夜間(閉館後16:30以降)の際には、
宿泊施設 上郷・森の家TEL045-895-5151 または
警備会社 京浜警備TEL045-461-0105にご連絡ください。
自然観察センターTEL045-894-7474

～注意が必要な生き物～

1.ハチ

＜襲われないために＞

- ・攻撃された際、特に標的になるので、黒っぽい色の服はさけてください。また帽子をかぶって、頭部を守ってください。
- ・香水、整髪料の香りはハチを引き寄せることがあります。
- ・甘いにおいのする飲み物は、缶の中などに入ってきて刺されてしまうことがあります。放置しないようにしましょう。



＜出会ったら＞

- ・近くにいるときは、じっとしてやり過ごします。近くに來ても手で追い払わず、動かずに遠ざかるのを待つか、後ずさりしながらゆっくりとその場を離れてください。
- ・巣を見つけた時は近づかない姿勢をできるだけ低くして、ゆっくりその場から離れてください。またハチは攻撃態勢に入ると「カチカチ」と威嚇音を出します。その場合は立ち止まらず、静かに離れてください。

＜万が一ハチに刺されたら＞

- ・傷口を水で洗って、毒を洗い出してください。「ポイズンリムーバー（毒吸引器）」「虫刺され薬ステロイドホルモン含有の抗ヒスタミン軟膏」を観察センターでは常備しています。症状が重い（めまい・嘔吐、発疹等）場合には救急車を手配します。

5.かぶれる植物・・・葉をちぎったり枝を折ったりしないでください。

ヌルデ

毒性は低いですが稀にかぶれることがあります。本数はたくさんあります。

小葉が3～6対称に並んでいる

葉軸に翼がある

茎が赤色

ツタウルシ



ヤマハゼ



ツル 葉が3枚

葉が“右右、左左……”と二枚づつ交互に並んでいる



コクサギ

川や湿地の近くに多くあります。汁がつとかぶれたり色素沈着を起こすことがあります。

2.ヘビ

- ・観察の森にはマムシやヤマカガシといった毒をもっている種類もあります。
- ・ヘビに出会った際はつかまえたり、つつくようなことは絶対にせず、離れたところから観察するようにしてください。
- ・毒をもったヘビにかまれた場合は、救急車を手配いたします。



マムシ

3.マダニ （国立感染症研究所HP参照）

- ・SFTSという病気を媒介することがあります。
- ・藪の植物の上にははい上がってきて、体の柔らかい部分にくいつき、1週間から10日位離れません。
- ・藪をかき分けて入らないようにしましょう。入った時には、お風呂に入る前に体にマダニが付いていないか確かめてください。
- ・対策には、袖・裾・襟から侵入されにくい服装、蚊よけと同じ虫除け剤（ディートやイカリジンの含まれる忌避剤）の使用がおすすめです。膝から下や靴の中にスプレーするとよいです。
- ・無理に取ったりつぶしたりせず、医療機関（皮膚科や外科）で取り除いてもらうようにして下さい。



4.カバキコマチグモ

- ・夏から秋にかけてススキなどの、イネ科の植物の葉をまいて巣を作ります。
- ・葉を開いて巣をこわすとかまれ、ひどくはれます。
- ・みつけてもこわさないようにしてください。



（个上記の写真は近縁種のヤマトコマチグモです。）